

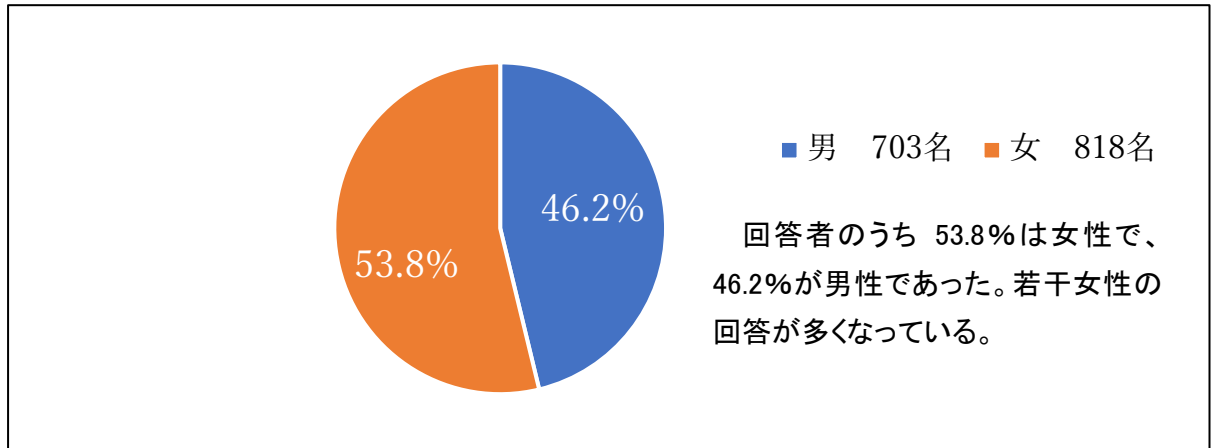
【参考資料】 奥州市水沢南自治振興会 まちづくりアンケート調査結果

令和 6 年 12 月 22 日

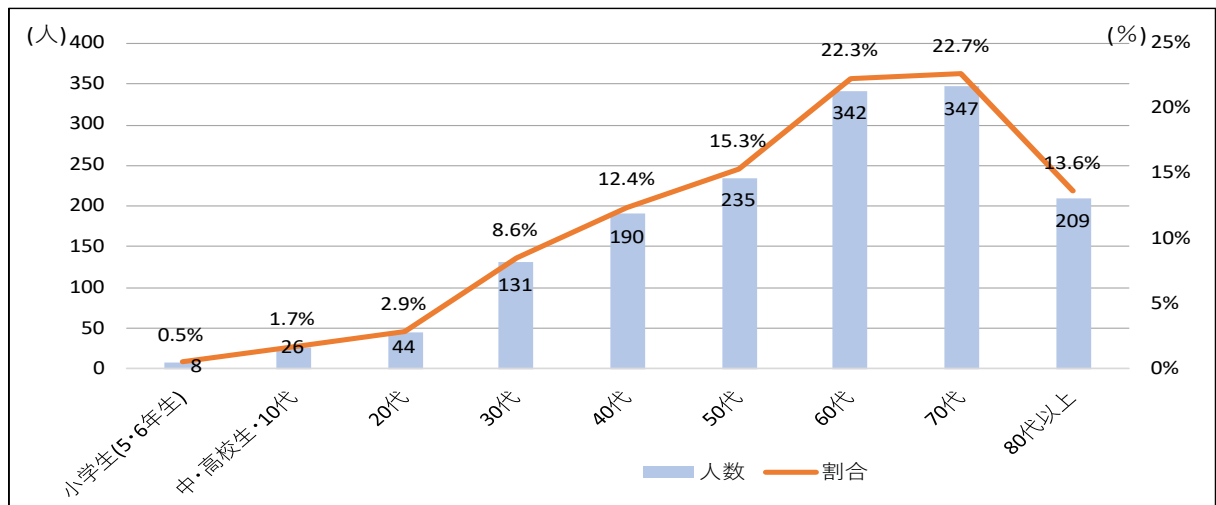
全世帯 (5,130 世帯) に 3 部ずつを配布し、1,534 件の回答を得た。人口比で約 13.7% の回答率である。(令和 6 年 4 月 30 日現在南地区人口 11,208 人)

1 回答者について

ア 男女別回答者の割合・人数 1,524 件の回答



イ 年代別回答者の割合・人数 1,524 件の回答

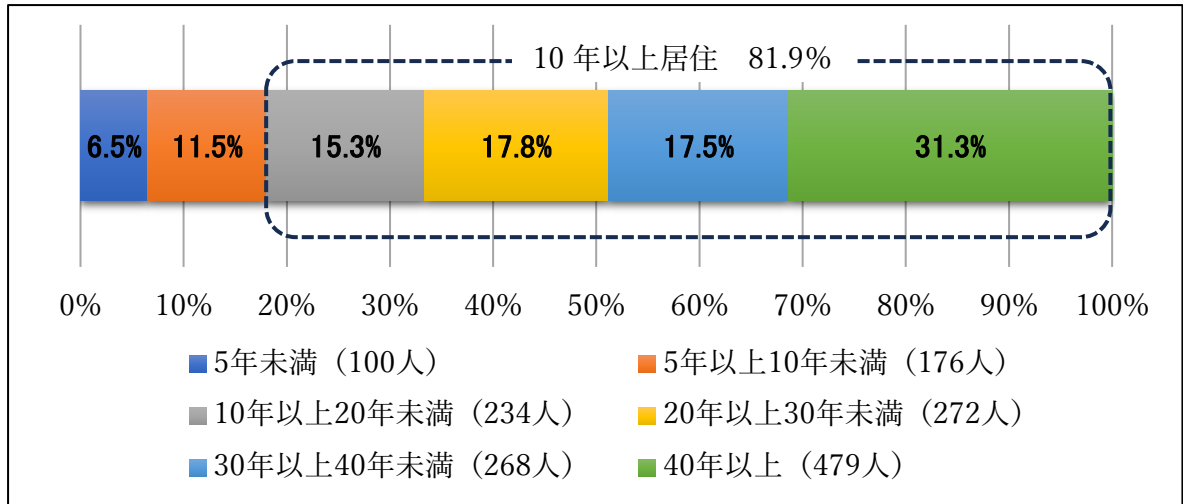


【水沢南地区各年代 人口構成比】

年齢区分	年代別総数 (人)	割合
小学 5・6 年生	214	2.0%
中学生・高校生・10代	815	7.7%
20代	909	8.6%
30代	1,143	10.8%
40代	1,524	14.4%
50代	1,604	15.1%
60代	1,502	14.1%
70代	1,554	14.6%
80代以上	1,352	12.7%
合計	10,617	100%

水沢南地区各年代の人口構成比と回答者の年代別の割合を比較すると、小学生から 40 代までの回答率は低く、50 代、60 代、70 代、80 代以上は人口構成比より回答率が高くなっている。

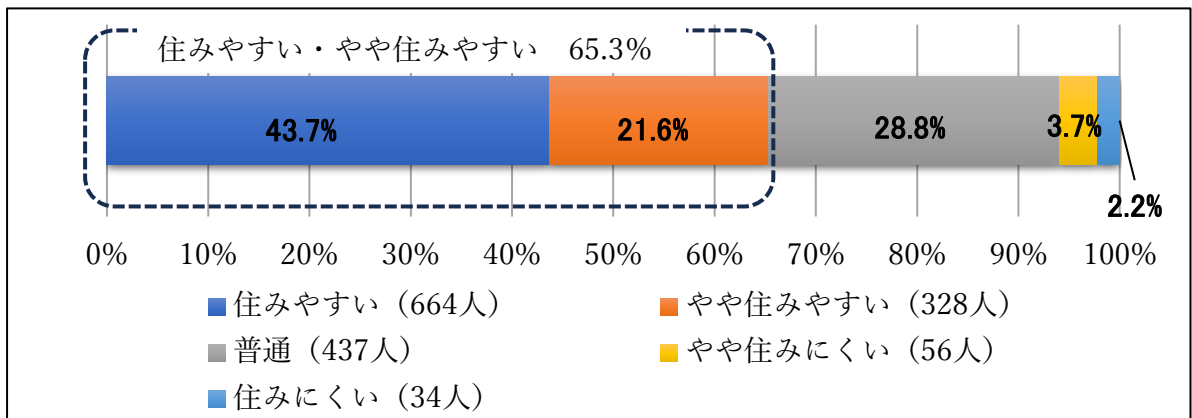
ウ 現在の南地区での居住期間 1,529 件の回答



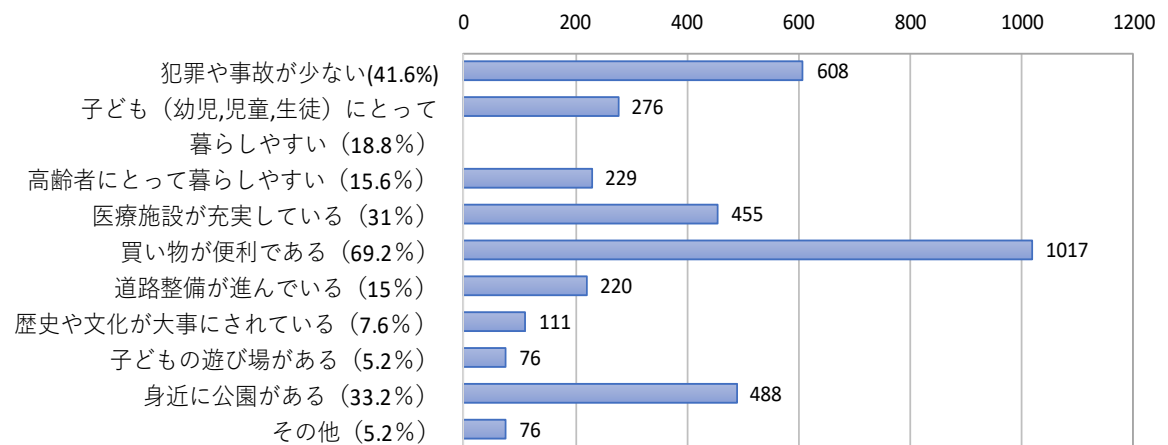
回答者の 31.3%が 40 年以上居住しており、10 年以上であれば 81.9%である。第 2 次コミュニティ計画を策定した平成 28 年度時点で、8 割程度の方が既に南地区に居住していることがわかる。

2 南地区のよさと課題の把握

ア 住みやすさ、住みやすい点



(2) 南地区で住みやすいと思うことを、3つ選びなさい 1,470件の回答 (人)



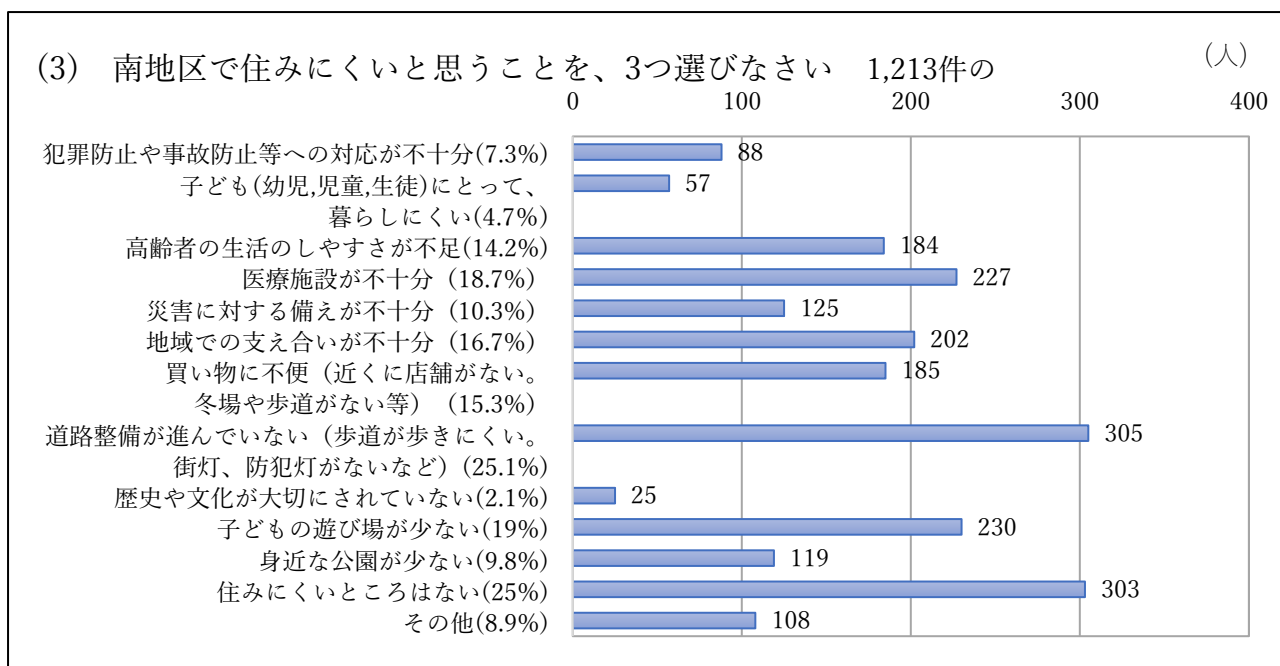
65.3%の住民が、南地区は「住みやすい」「やや住みやすい」と感じている。一方、「住みにくい」「やや住みにくい」と感じている住民の割合は5.9%である。「住みやすい」点として、「買い物が便利である」「犯罪や事故が少ない」「身近に公園がある」「医療施設が充実している」ことを多くの方が回答している。

自由記述でも「学校、病院、スーパー、銀行、郵便局、地区センター」が近くであり、中心市街地に近いという立地、自然環境のよさがあげられている。また、災害・水害が少ないこと、子どもたちの見守り、防犯・交通安全への取り組みに対して感謝の記述もあった。

【水沢南地区の住みやすさ】

- ◎ 生活を営む上での生活環境に恵まれている。(学校、郵便局、銀行、スーパー、病院、交番・消防署が近くにある。中心市街地に比較的近い)
- ◎ 豊かな自然環境(水沢公園、見分森等)
- ◎ 火災、地震被害、水害の心配が少ない
- ◎ 共生社会のよさ(登下校時のボランティア、交通安全・防犯活動)

イ 住みにくい点、南地区の課題



住みにくい点としてあげられているのは、「道路整備が進んでいない」「医療施設が不十分」「地域の支え合いが不足」「高齢者の生活のしやすさが不足」「子どもの遊び場が少ない」である。「住みにくいところはない」という回答も25%あった。

自由記述では、病院の診療科に関する不満、道路整備、除雪に関する意見、町内会活動への参加に対する不満もあげられている。

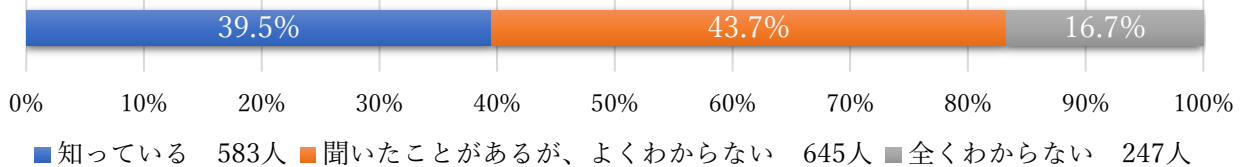
【水沢南地区の住みにくい点】

- △ インフラの整備（道路・公共交通）
- △ 共生社会への課題（高齢者、地域での支え合い）

3 水沢南自治振興会について

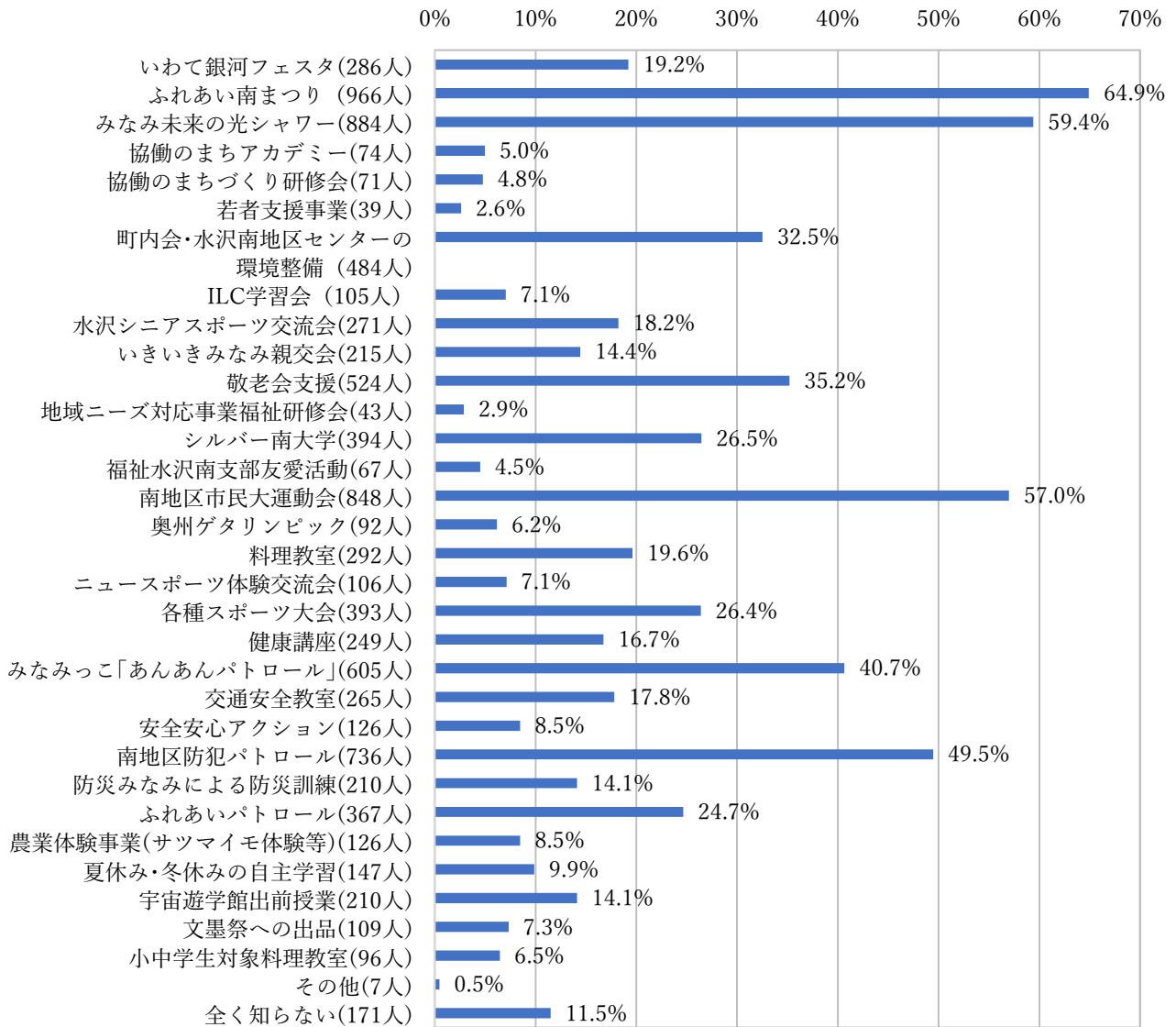
ア 水沢南自治振興会の組織と事業の認知度

(1) 「水沢南自治振興会」という組織を知っていますか。 1,475件の回答



水沢南自治振興会事業認知割合

複数回答可1,448件の回答

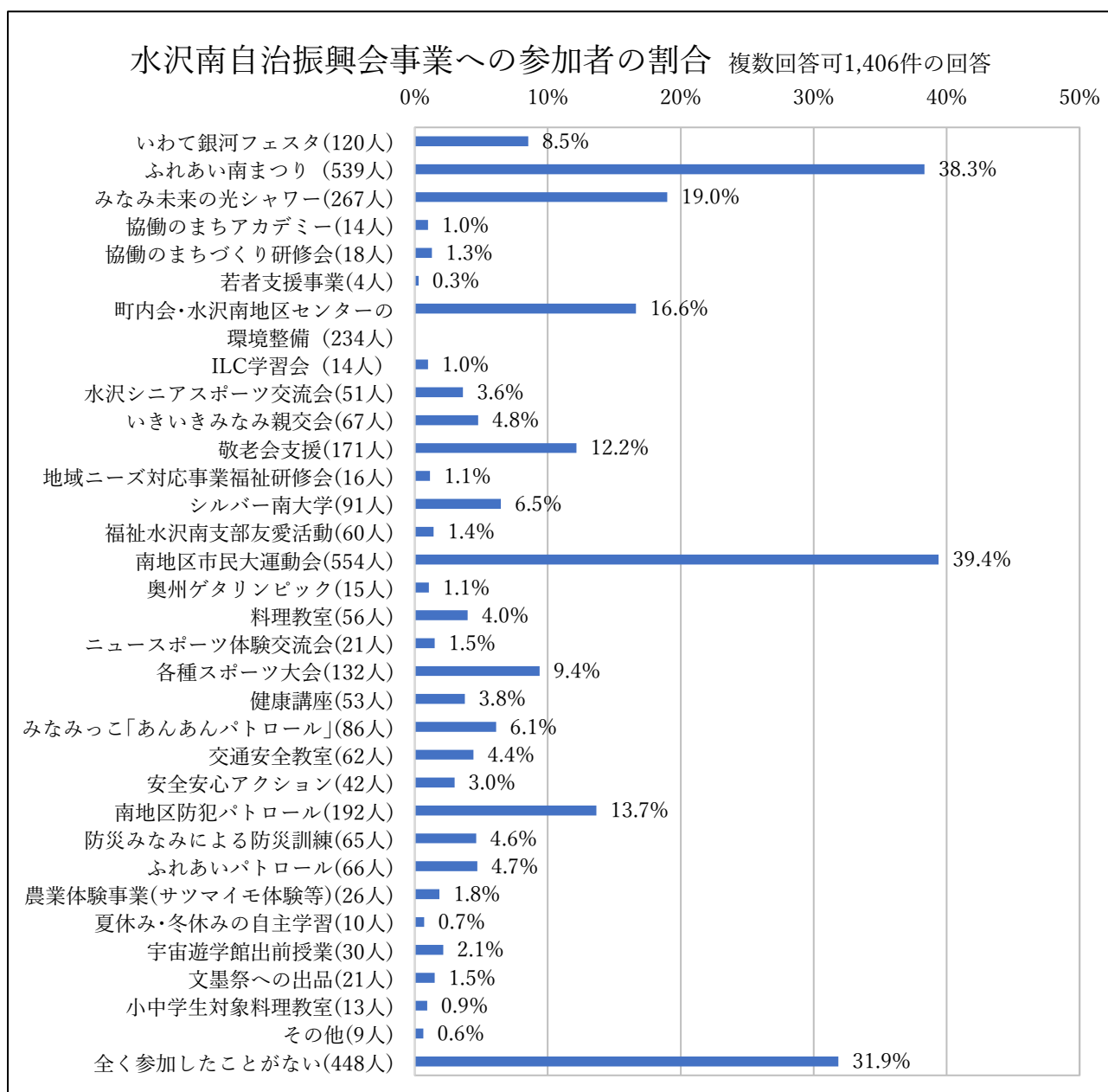


水沢南自治振興会を知っているが 39.5%、聞いたことがあるがよくわからないが 43.7%である。全くわからないと答えた方は、16.7%である。居住期間の長い方ほど、水沢南自治振興会を知っていると答えた方の割合が高くなっている。

また、認知度の高い事業は、右に示したとおりである。以下、敬老会支援 (35.2%)、町内会・水沢南地区センターの環境整備 (32.5%)、シルバー南大学 (26.5%)、各種スポーツ大会 (26.4%)、ふれあいパトロール (24.7%) となっている。全く知らないは、11.5%である。

- | | | |
|---|------------------|-------|
| ① | ふれあい南まつり | 64.9% |
| ② | みなみ未来の光シャワー | 59.4% |
| ③ | 南地区市民大運動会 | 57.0% |
| ④ | 南地区防犯パトロール | 49.5% |
| ⑤ | みなみっこ「あんあんパトロール」 | 40.7% |

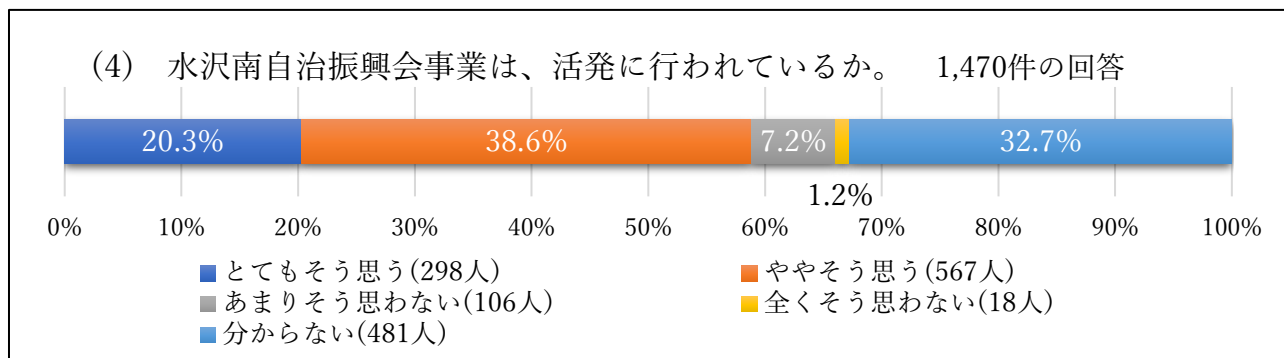
イ 水沢南自治振興会事業への参加状況



水沢南自治振興会の参加率の高い事業は、下に示したとおりである。以下、敬老会支援(2.2%)、各種スポーツ大会(9.4%)、となっている。他の事業は、10%未満の参加率である。1.9%の方は、「全く参加したことがない」と回答している。

① 南地区市民大運動会	39.4%
② ふれあい南まつり	38.3%
③ みなみ未来の光シャワー	19.0%
④ 町内会・水沢南地区センターの環境整備	16.6%
⑤ 南地区防犯パトロール	13.7%

ウ 水沢南自治振興会事業活動の状況

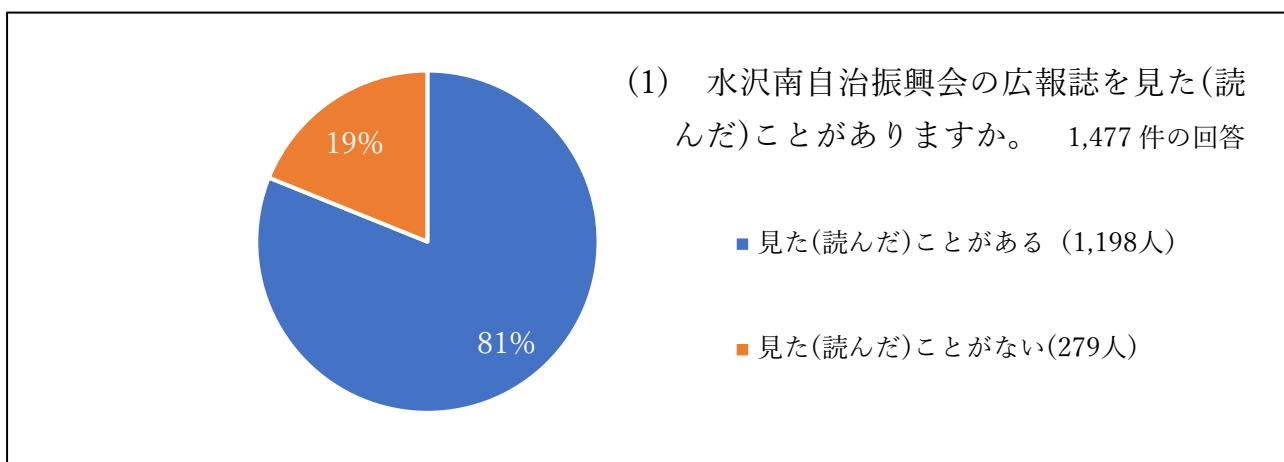


水沢南自治振興会の活動に対して、「活発か？」という評価は、肯定的な回答が58.9%、否定的な回答が8.4%である。32.7%の方は、分からないと回答している。

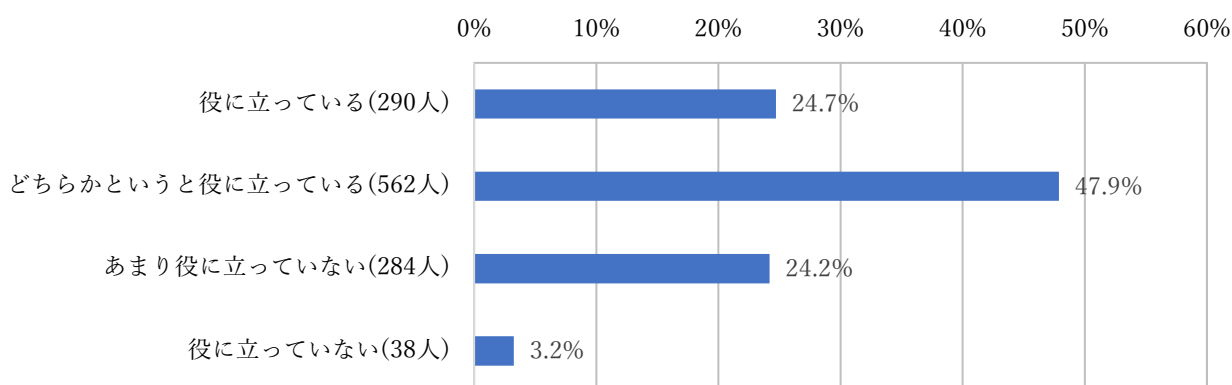
自由記述にあった課題・要望は、次の内容である。

- ・ 事業の周知、広報活動について
- ・ 広い年代の意見を取り入れてほしい、現役世代が参加できる事業の実施
- ・ 事業の見直し・改善、真夏の運動会実施への意見
- ・ 役員、事務局の負担の軽減
- ・ 行政的な役割を期待している回答（社会環境、自然環境、施設について）

エ 水沢南自治振興会広報誌「みなみ」について



(2) 水沢南自治振興会の広報誌は役に立っていますか。 1,174件の回答

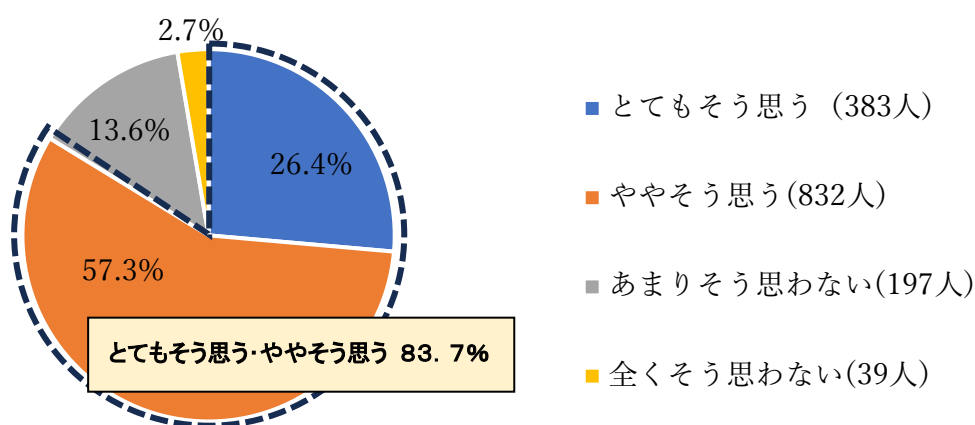


8割以上の方が広報を見た（読んだ）ことがあり、広報誌が有用という回答が7割を超え、有用性に欠けるという回答が3.2%である。自由記述に、紙面の工夫への要望があげられている。広報誌とともに、ホームページの活用など情報発信の方策についても検討していく必要がある。

4 第2次コミュニティ計画の評価(6大要綱についての評価)

- ア 南地区の活性化と人材を育てるまちづくり
- イ だれもが健康で活力ある暮らしのできるまちづくり
- ウ 笑顔と賑わいのあるまちづくり
- エ 豊かな自然と調和する環境をつくるまちづくり
- オ 安心安全に住めるまちづくり

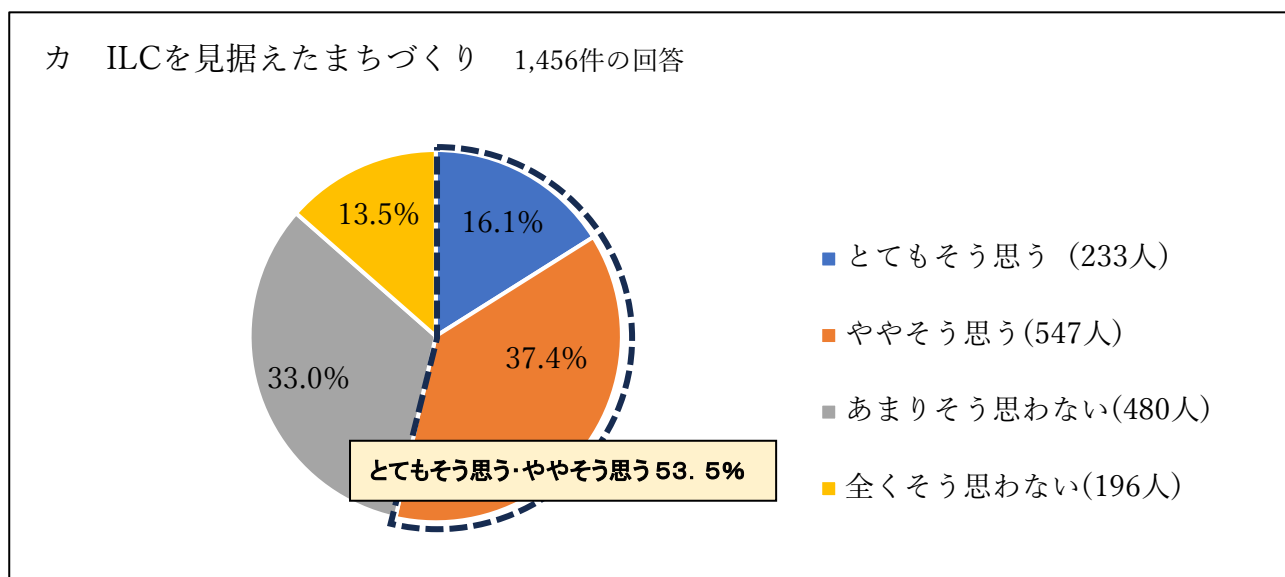
ア 南地区の活性化と人材を育てるまちづくり 1,451件の回答



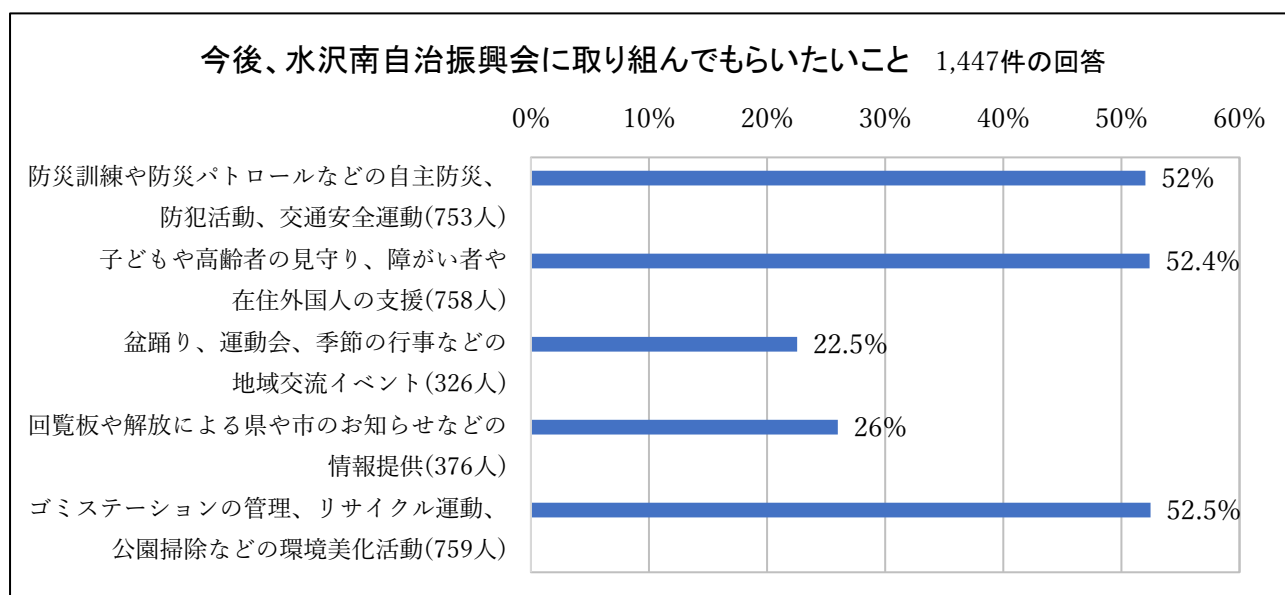
6大要綱のうち、ア～オの5項目は約83%～87%の方が、取り組みが有効と答えている。否定的な回答は約13%～17%である。（点線範囲は肯定的な回答）

カ ILC 誘致を見据えたまちづくり

6 大要綱のうちのカ「ILC を見据えたまちづくり」は、肯定的な回答が 53.5%、否定的な回答が 46.5%とほぼ半数に近い回答に分かれた。(点線範囲は肯定的な回答)



5 水沢南自治振興会に取り組んでもらいたいこと、期待すること

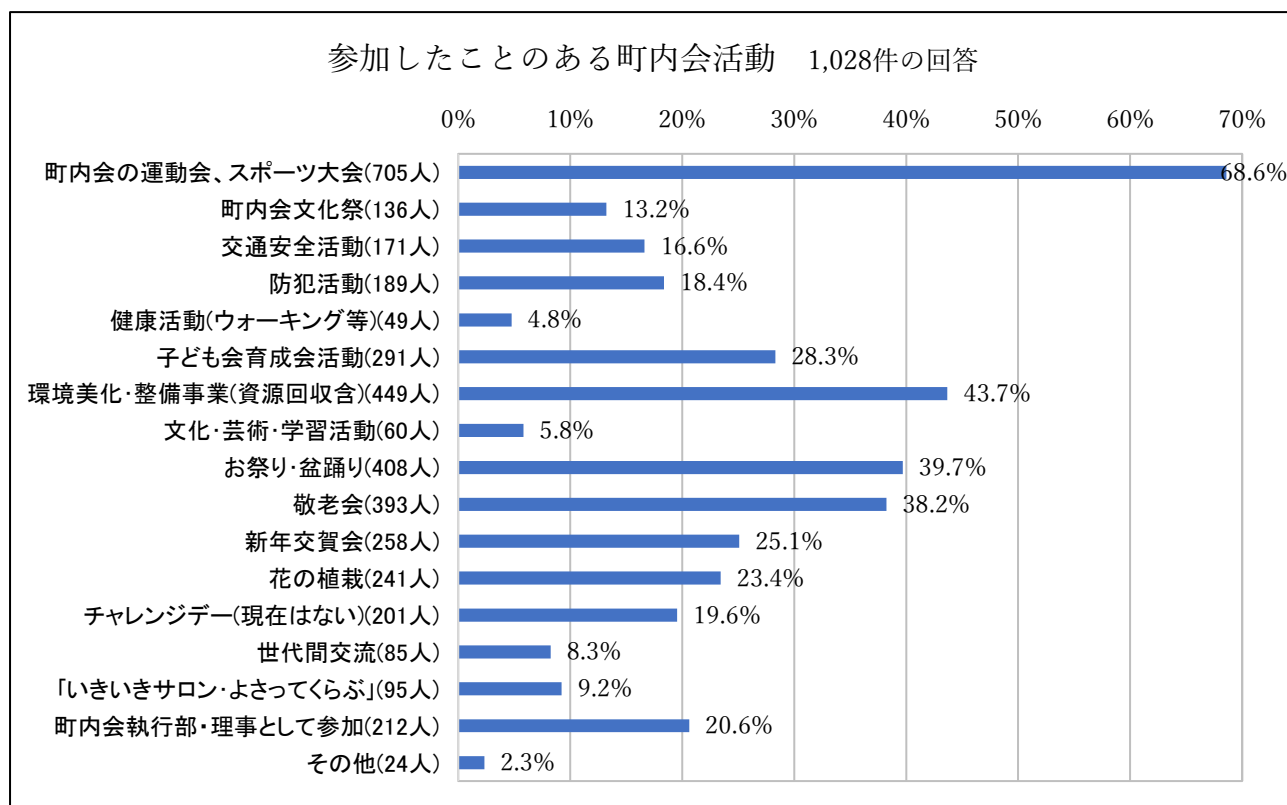


選択肢 5 項目から選んでもらった結果、以下 3 つの事業への期待がほぼ同数であった。

- ① 子どもや高齢者の見守り、障がい者や在住外国人の支援
- ② ゴミステーションの管理、リサイクル運動、公園掃除などの環境美化活動
- ③ 防災訓練や防災パトロールなどの自主防災、防犯活動、交通安全活動

6 町内会について

ア 町内会活動への参加状況



町内会活動に「参加している」「時々参加している」は約7割で、参加状況は、「運動会、スポーツ大会(68.6%)」、「環境美化・整備作業(43.7%)」、「お祭り・盆踊り(39.7%)」、「敬老会(38.2%)」、「新年交賀会(25.1%)」の順で高い率となっている。

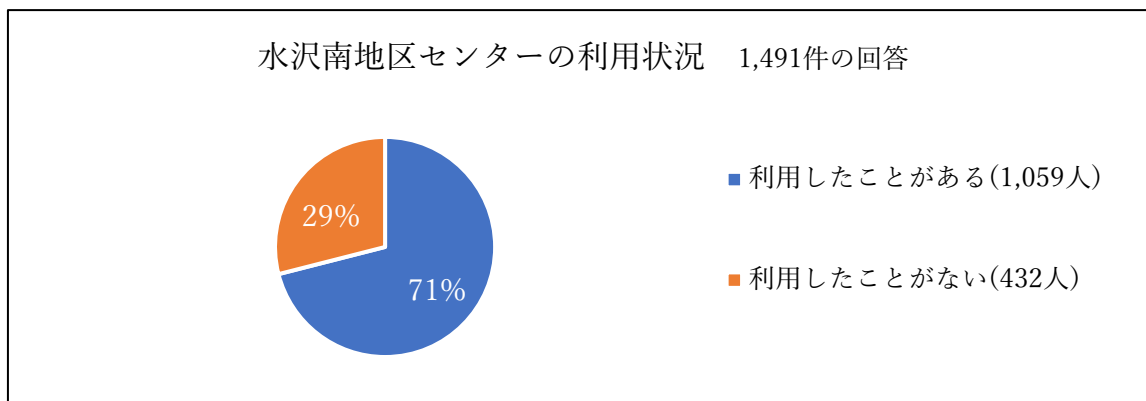
また、「参加していない」は約3割で理由として、仕事の都合というものが多かった。なお、自由記述に高齢に関する記述が多く見られた。

イ 要望事項(自由記述より)

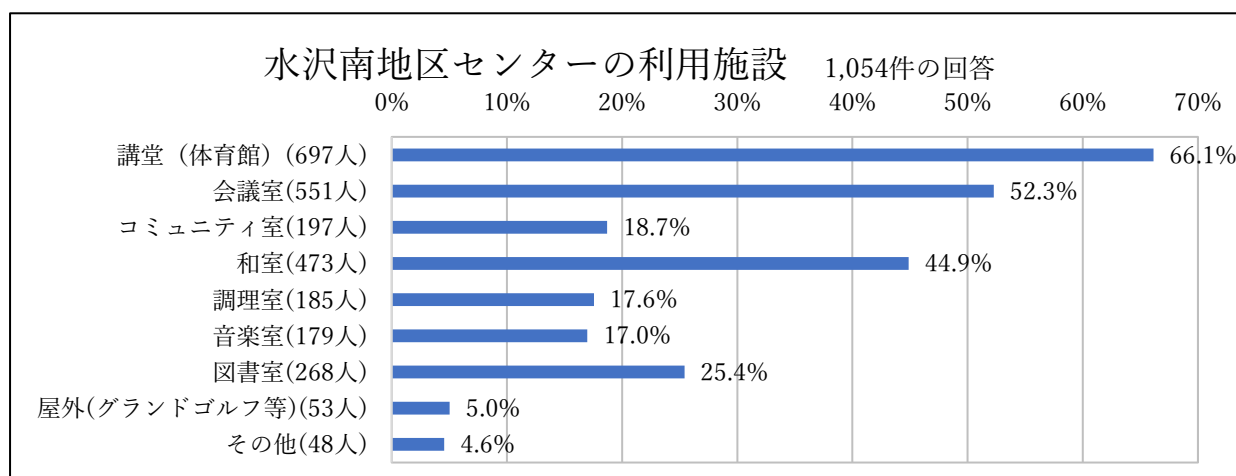
- ・ 会員参加を求めることに対する意見
- ・ 町内会活動に関心がない、役員・活動の負担感、意識の変化について
- ・ 参加世代の変化、現役世代の参加期待
- ・ 時代に即して、町内会活動の改善と見直しを求めるもの
- ・ 町内会役員に対する感謝、励まし、不満
- ・ 回覧、広報誌の内容について、広報活動の工夫
- ・ アパートに住む方からの意見
- ・ 町内会活動の負担感、町内会費について
- ・ ゴミステーション、環境美化について

7 水沢南地区センターについて

ア 利用状況 回答者のうち、約7割の方が利用したことがあると回答



イ 利用施設



最も利用されている施設は、講堂（体育館）であり、会議室、和室が続いている。定期利用団体、町内会及び自治振興会事業でよく使用されている。また、廃止された図書室もかつて利用されていた。

利用しない理由の中には、「施設の利用方法を知らない」という方もいた。

ウ 水沢南地区センターへの要望事項

- ・ 親しみやすい地区センター、気軽に立ち寄れる場所であってほしい
- ・ 施設利用の仕方について（簡略化や自由解放時間の希望）
- ・ 施設・設備の改修・充実、施設環境の整備
- ・ 図書館の再開
- ・ 行政的な役割、行政とのつなぎ役を期待